## 被爆七十八年 広 島 女 学 院 平 和 祈 念 式 次

第

場 日 所 時 広島女学院中学高等学校ゲーンスホール 二〇二三年八月六日(日)午前十時

司 楽 式

奏 福岡 美香

中 学

中

学

礼拝委員会

茶 道

部

中高校長

\_

讃

美

歌

三二〇番

折

鶴

献

納

前

奏

教会オルガン曲集より四番

献

茶

\_

祈

祷

聖

書

朗

読

詩編八五編九節

追

悼

0

لح

ば

同

式

辞

合

唱

主は常に祈りを聞き給う

渡 辺 信

幼稚園園長 古 重 歌

織

中

学

合 唱 部

 $\equiv$ 谷 高 康

院

長

同窓会長

竹

内

路

子

在学生代表 中学3年

池 亀 帆 香

清 洛

同

一、献

花

後

奏

教会オルガン曲集より八八番

終

祷

讃

美

歌

五三一番

What a Friend We Have in Jesus

中高聖書科

ハンドベル演奏 中学YWCA

金



1 主よ、みもとに 近 づ かん、 のほるみちは 十字 架 に ありともなど 悲しむべき、 主よ、みもとに 近 づ かん。 2

さすらうまに 日は暮れ、石のうえの かりねの夢にもなお 天を望み、主よみもとに 近 づかん。

3 主のつかいは み 空 に かよう梯の うえより 招きぬれば、いざ登りて、 主よ、みもとに 近 づ かん。

うつし世をば は な れ て、 デが ける 日 き た ら ば、 いよよちかく みもとにゆき、 主のみかおを あおきみん。

[306]



テサロニケ後 3.16

1 こころの緒等に み歌のかよえば、 しらべに合せて いざほめ歌われ

(おりかえし)

あ<sub>き</sub> 辛 希 よ、くしき 辛 希 よ、 み神のたまえる くしき 平 和 よ。 2 笑よりくだれる きよげき平和は まどえる心の 聞きいしずえ。

3

主化なを君とし かしこみがげば、こころに諡るる 笑つみめぐみ。

4 みそばにはべれば 平和は絶えせず、 なみかぜさわがじ こころの海に。

[551]

藤吉福青教 崎井地笹 和静茂高職 香子樹晴 藤川小世由森益松的吹桧花温中武田角神迫小国笠梶沖榎今伊上多重川並良木岡村場本垣房井村永中川保本牧本原山本並井藤里美美 マ和 美美 順宣洋恆慶澄悦芳清安定瑞恵津瑛悦チ歌友洋康昌津早和綾延昌子子子子子子子江江恵子枝子枝子子子子子子子子子子子子子子 尾長米成 】 ミス を 辞子 高鈴河岸兼崎河岸本 河岸本 紀久子 温久子 場子子 鈴木勇次郎 吉川 冨美 平岡 俊子 マイ ・単 高次 川越三千子 藤子 川越三千子 藤子 八里 原子 ・「「「「」」 大竹 佐 菊 河原田 秀子 大田 洋子 忠高佐国金面岡田々司子野木 第22字 勲 <sup>尔</sup>節初定 子操緑子恵子 一た郁千彦 名き子歳七

松岡 節子 本原 道子 温富品山 新熊徳八三松永中 生野田木本美 多 現貴恵暉代子 和現子子子 大子 吉田 恭子 藤田 恭子 恭子 三佐井桑中 宅伯槌原村 本宫佐高小佐 城崎々木澤能 田谷 中川 林飛ユリ子 和 和 治 桂 裕 明 智 子 子 子 子 子 子 子 美 照智美法玲 子枝子子子 昭英 子子 水田美紗子 高橋 紅子 高橋 紅子 田中 房子 有浦 詩美 松吉野伊沖四本田村藤本竃 平石木梅正岡井村園木 坂生千枝子 鉄田井口 典久朝公倭子子代子子 天光 子子 幸道民光安佑路子子江子子

以上生徒合計二三〇名 慰霊碑中の過去帳に記名されています。